

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念を毎朝一項目ずつ唱和し実践できるようにしている。職員の信条は生活支援会議で実践状況を拠点内職員と共有し実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ボランティアの受入れや地域の方から参加していただける行事がまだできてはいないが、ふれあいサロンには運営面で職員が協力しご利用者も参加している。今後も継続予定。	事業所が地域との交流ができるようになったら、以前のような行事を行って欲しい。職員は地域の方と気持ち良い挨拶をしている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回運営推進会議を開催し、現状報告やご意見をもらっている。サービス向上につながるように声を拾っていききたい。	どのようなことがサービス向上につながったのか、具体的なことを提示できるようにして欲しい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にはオブザーバーとして参加していただいている。入退去、事故報告など行い、メールを活用して細かく連絡をいただいている。	燕市介護保険係や分水地区地域包括支援センターの担当者とも今後も会議を通して連携し、協力関係を築くようにしていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人でマニュアルがあり、虐待防止研修と共に年2回実施している。今年度は実施が遅れ7月中に行っている。2月動画研修、3月に認知症の人の行為、行動を妨げない為の検討会も予定している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止研修と一緒に7月に研修を行い、2月に動画研修と3月に認知症の人の行為、行動を妨げない為の検討会を行う。(毎年実施している)
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人でマニュアルがあり、身体拘束廃止研修と共に年2回実施している。今年度は実施が遅れ7月中に行っている。10月にもチェックリストで確認し、虐待防止に努める。2月に動画研修を予定している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止研修と一緒に7月に研修を行い、10月に不適切なケア・虐待の芽チェックを行っている。職員間でのコミュニケーションは良く虐待の芽はほぼないのを確認できた。2月に動画研修を行う予定。(毎年実施している)

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度は2月の部署内研修で行う予定。実際に後見制度を利用している方2名おられ連携している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長、リーダー、計画作成担当者が契約等行っている。事前にケアマネジャー等から情報を得た上で不安の無いように丁寧に説明し本人の了解をもらって納得して利用してもらっている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月利用者の会を各ユニットで行いご利用者の要望をお聞きし希望に沿った支援を行っている。日常や行事の様子を家族にはメールやラインを活用し伝え、また毎月発行のだっくらかわら版で皆様にもお知らせしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月ご利用者の会で食べたい物や出かけたい場所など意見をもらっている。今年度はカニを食べたいというご意見があり実現している。ご家族からもサービス向上の為のアンケートを実施し、公表し、ご意見を反映している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営面においては一般職員から提案を受けること多くあり、自主的に考える習慣がついている。職場風土向上委員会があり法人に意見をあげ、働きやすい職場環境をつくってもらっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人では職場風土向上委員会を設置して、ノー残業デイ、給与、手当、年休、腰痛予防対策など全職員から意見を聞き、部署内での改善を検討。法人へ意見を伝え環境や条件の改善につなげている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場風土向上委員会でのアンケートを毎年実施している。各事業所でまとめ、さらに地域密着拠点でまとめ施設長と話し合いを行い、そこで解決できないことを法人にあげ、改善の一助としている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人で研修システムを導入し、各職員が隙間時間に動画研修を受講できるようになっている。新規雇用の職員には介護職員技術習得評価表を用いてとてーニングできる仕組みがある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新規採用職員には担当指導職員を決め研修ノートに3ヶ月にわたり目標設定、実施状況を記録している。技術等習得評価表を用いてトレーニングもしている。研修システムで動画研修、部署内研修も実施している。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	燕市の地域ケア会議や認知症支援部会などで交流する機会はある。以前やっていた情報交換会はコロナ禍で休止したままになっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念で自立支援や安心安全な生活支援など提示しており意識した支援をしている。またホームでも共に暮らしを支える視点の大切さを伝えている。			
⑮	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居されてからも通い慣れた理美容室や友人関係は本人やご家族からお聞きしできるだけつながりが途切れないうにしている。	本人の望むことを行って欲しい。今後ともできるだけ関係性の継続支援をお願いします。 本人などの希望を全て叶えることはいいかもしれないが、できる範囲で対面面会や外出など、つながりを途切れないう対応ができて、本人や馴染みの方々が満足しているのであれば評価はAで良いと思う。入居者本人の満足度はどうなのでしょう？ コロナ禍で馴染みの人と場との関係継続には苦勞された事と思います。引き続きご本人などからお聞きし、関係が継続できるよう支援願います。 地域のなじみの方々との関係が継続できるように今後も支援をお願いします。 ホームにいてもそのような関係が継続できることはとても良い事でありがたいです。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用開始の時からアセスメントでどのように暮らしていきたいか本人・家族からお聞きしている。何をしたいのか伝えられない方には職員からも提案をして決めてもらっている。			
----	----------	--	---	--	--	--	--

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	3ヶ月毎に計画のモニタリングを行い、本人を含めてサービス担当者会議を行い、やりたいことなどの希望をお聞きしている。自宅の仏壇参りやビールを飲みに行きたいなど計画して実践した事例もある。	<p>グループホームだからこそできるサービスだと思います。入居者の皆さんにとってとても良い事だと思います。</p> <p>ご本人の希望が実現できるようにサービス担当者会議、モニタリングで確認をお願いします。</p> <p>本来6ヶ月毎で良いモニタリングを3ヶ月に短縮して行っていることや本人の希望を出来る限り聞いて対応しているのであれば評価をAで良いと思います。</p> <p>本人、家族、職員と情報を共有し、きめ細かいサービスの実践を続けてください。</p> <p>本人が楽しくできれば幸いです。</p>	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>普段の会話から本人の希望を聞き出し実現に向けて担当職員を中心に考えている。家に帰りたと言われる方に対し、家族にお願いし自宅へ行ったり、家族からきていただくなど家族にも協力していただいていることもある。</p> <p>家族からの支援が必要な方には、その都度相談しており、中には家には行けない事情を抱えている方もいる。</p>
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	ご利用者の体調や気持ちの変化に気づき、当日の職員ですぐにカンファレンスを行い、ケア計画につなげている。3ヶ月に一度のモニタリングでも意見を聞き見直しに努めている。	/	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	<p>ほのぼのという介護記録のシステムを使用しており、掲示板に利用者の申し送り、事務連絡を掲示し、各職員が確認してチェックできるようになっているので、職員間での共有には力をいれ、実践に活かしている。</p>
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	基本的に本人や家族の希望はできる限り実現してきている。受診の付き添いなども看護職員と連携し、状態に応じて専門職にも相談している。	<p>受診の付き添いができるので、コロナ禍でも顔が見られて良かったです。</p> <p>単身、高齢世帯が増えてきており、ご家族や受診、付き添いを行うことが難しい場合もあると思います。個別の状況に応じた対応をお願いします。職員が一丸となって、ご本人の希望に添えるよう行動しているように感じます。本人や家族の希望や要望などのニーズが既存の決まり事以外であっても、ある程度柔軟に対応できているのであればA評価で妥当と考えます。受診の時は医師の指示、意見を直接聞き取っていただく為に、職員の付き添いは是非お願いいたします。</p>	/	/

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまでの本人の交流の関係などお聞きし、また本人の得意なことなど情報を把握し、ホームにいても生活を楽しくいただけるよう支援している	得意なこと、できることを頼まれると本人の励みになっているようです。できることをやらせてください。ご本人の交流の関係を確認した上で、日頃の生活を楽しんでいただけるよう、地域資源を活用していただければと思います。コロナ禍で地域との交流が思うようにできなかったことと思います。5類に移行して、少しずつでも以前のように交流ができることをお願いします。入居すると住居地域との交流は段々と疎遠になるが、一部の入居者についてはホーム所在地の「サロン」に参加し、新たな交流を図り親睦を深めるよう支援を行っているが一部に限られる為自己評価通りBで妥当と考えます。なお、コロナ規制も緩和された中で、今後ホームイベントの再開を通して地域の方々とより活発な交流を行うことにより、入居者が今の生活を楽しみ、満足してもらえるようになればいいですね。そのなったらA評価です。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居してもそれまでのかかりつけ医に受診を継続してもらっている。家族に同行してもらい、重度化した場合に医療機関の対応を確認し、場合によっては主治医の変更も支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院に至った際には必ず職員が同行し、ご利用者、ご家族が安心して治療を受けられるように支援している。看護職員も同行、病状説明に同席しホームでできることを説明、早期退院ができるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入退院支援については先に記載しているが、日頃の定期受診や大きな病院への受診も職員、看護職員が同行し日頃の様子を医療機関に伝えている。入院しても早期に退院させてもらえるよう関係者と連携している。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に看取りの指針があることを説明し、重度化に向けた意向の確認を行っている。年に一回の意向確認と共にいつでも変更できること伝えていく。地域の医療機関の医師も協力体制を依頼している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居契約の際の「入居者の重度化への対応とターミナルケアのかかる指針」を説明し、同意をもらって入居している。看取りのために往診診療をしてくださる医師に主治医を変えて看取りケアを実施した方もおられる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	容態急変訓練、感染症の訓練などホーム内で研修を行い、急変時の対応、非常災害対策訓練などは動画研修で全員が確認している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月夜間想定、昼間送泥、風水害、地震などの防災訓練を取身入れている。年に1回は運営推進委員も参加して通報訓練も実施している。所持不明の捜索訓練もおこない、防犯カメラやマメールの配信も訓練している。	自己評価がBで、理由として全員がマニュアルを熟知しているわけではないとことだが人事異動もあるので仕方ないところもあると思う。避難訓練も見ているが良くできていると思うのでAが妥当ではないかと考えます。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	夜間想定火災訓練:4/28, 9/28, 11/22 感染症対応訓練:①6月に4回②1月中に実施予定、動画研修5月に実施 大雨、洪水等避難訓練:9/30 行方不明捜索訓練:9/30, 11/17 予定通りに訓練を行うことができず、予定月以外に行っている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ひとり一人に適した方法で、小声で話す、耳元で話す、否定語は使わないなどプライバシーに配慮した対応をしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人格否定やプライバシーに配慮をしていないことではないが、担当の利用者の尊厳や誇りとしていることをアセスメントと通してもっと知る努力をしたいと思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その方に合わせた起床、食事、入浴などが行えるよう工夫して対応している。外出などの希望があった場合、職員の都合を優先せず、どうしたら叶えられるか話し合っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者には野菜切りや盛り付けなどできることを役割としていただき、ひとり一人の好みに合わせてお作りしている。食事形態が変わってもおいしく食べられるよう工夫している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ビール、カニ、ラーメン、寿司など利用者の希望を聞きながら用意している。食事はできることをしていただきながら、食べる楽しみ、共に片付けなど意識してできている。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康状態に合わせて食事量、水分量や形態は工夫している。メニュー表を確認し重複しないように食材にも気を配っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後必ず全員に口腔ケアができていないわけではないが、習慣にあわせている。介助の必要な方は毎回ケアを行い、就寝前には全員やってもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時のうがい、食後の歯磨きなど声かけを行ってできる方はやれている。義歯の洗浄やスポンジ等での口腔ケアなどその方に適した方法を無理なく行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレの声掛けを細目に行い、便秘の方には薬や浣腸だけに頼らず水分摂取や寒天ご飯など予防につとめている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分でトイレに行く人が多いが、声掛けだけの支援や介助を要する人にはその方のパターンに応じて支援している。食事に乳製品や寒天など取り入れている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	DS 利用者の入浴希望を優先しており、入居者が希望通りに入浴できていないことが多い。個々の支援に応じられていない現状である。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お部屋で休みたい方は自らいかれていたが、その時の状況に応じてソファや小上がりなど好きな所で休憩している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に薬箱を用意し、薬の名前、用法、副作用など誰もが確認できるようにしている。配薬も 2 人体制で確認しながら内服するように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の配薬については先の通りであるが、薬の変更などは看護職員にも報告し、症状に変化があった場合は医師に連絡するなど、確認、対応ができています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の日課で新聞を読む、飲み物ゆっくり飲みくつろぐ、晩酌を楽しむなど習慣や得意なことを続けられるように支援している。	やりたい事もそうだが、やりたくない事を尊重してくれている。またやりたい気持ちを引き出す努力をしていることが分かった。お酒も飲んでいいんですね。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ドライブがてら行き先を本人の実家へ行ってみたいり自宅の墓参りを担当職員が中心に支援している。自宅帰りたいたいと希望があった際には一緒に出掛けられるようにしている。	母が縁に入居しているが、ドライブや買い物などに頻繁に行っていると聞いている。嬉しそうにしているし、満足しています。		

		人々と協力しながら出かけられるように支援している					
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室に金庫を設置しており本人、ご家族で管理をお願いしている。本人の財布に小遣いを入れてもらい何か買いたい物があつた場合は一緒に確認して使用してもらっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が自ら電話や手紙を出すなどの希望はほとんど聞かれていないが、職員がLINE やメールを通して日常の様子や写真などと一緒にどんなことを家族に伝えるかは確認している			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者にとって不快や混乱を招くように物がないように配慮し、空調や、電灯などは本人達に合わせている。季節感がある装飾を飾り居心地良く過ごせるように工夫している。毎月の外出や行基などの写真も貼り出すようにしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	環境整備などについては先に記載の通りだが、利用者の相性の良い方と隣同士に座ることや本人の望む席など、居心地よく安心できる場所で自由に過ごして頂いている。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向を全てその時に叶えること難しいが、いつならできると予定を作ることができる限り望みを叶えられるよう支援している。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居にアセスメントシートにこれまでの暮らし方などご家族に記入していただいているが、ご家族が居ない場合には本人との会話の中から引き出すようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の変化など日々のバイタル測定や表情などから把握して、医療が必要な場合にはご家族と相談しながら適切に受診、ケアをおこなっている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は出勤時などに利用者のいつもと違うに気をつけて観察しながら支援している。特に健康面について看護職員へ毎朝状況の報告して共有している。	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活ではあるが、ご自分のペースで生活していただくようにしている。お菓子、飲酒など習慣を出来る限り実現している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔の写真や思い出の品を家族の協力のもとご持参いただけた。以前の写真や現在の写真を眺めて表情が和らぐ変化もみられている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで使用していた物を持ちこむことで自分の部屋だと思っていただけるように家族にもお願いしている。馴染みの物がない、大切にしているものがない人は最近の写真など掲示している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしの情報は皆様にお伝えしており、行きたい方などには参加していただくようにしている。歩行状態によってはドライブでも気晴らしになっている。	声に出せない人、声に出さない人の希望を聞き出すことをこれからも続けて行ってほしい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートで私のできること、わかることという情報をまとめており、できることは続けられるように支援し、役割や楽しみにつなげられるようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔の話や地域の話をする事で表情が良くなることもあり、意図的に会話をもつことで「また行きたい」と意欲をみせることもあった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は手が空いた時には隣に座りご利用者との会話を楽しむようにしている。ご利用者主体の生活支援ができるように取り組んでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	縁の近い方はこの地域の方との交流はサロン通じて行っているが、離れた地域の方は、馴染みの床屋や地域を散歩することで馴染みの方を出会いお話しすることができている。	旭町地域の人ばかりではないとは思っているので地域の行事に全員が参加しなくても仕方がない。それぞれの地域で馴染みの事が継続できるようにして言って下さい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家に帰りたいたい思いを抱えている方もおられるが、ご自分で納得され入居された方は「ここが安心」と話されたり職員との関りや外出や行事などを楽しみにされている方も多くおられる。ご利用者も職員も一つの家族としてそれぞれの役割も担ってもらいながら共に生活している。	自分の母もそうだったが、家に帰りたいたい気持ちがありました。その気持ちを大切にあげて欲しい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は認知症ケアの専門性を高め、利用者の対弁者となるよう親密に関わるようにしている。家族にとっての安心になれるよう協力し生活を楽しんで頂いている。